



2022年7月28日

各 位

会 社 名 太 洋 工 業 株 式 会 社  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 細 江 美 則  
 (コード番号：6663 東証スタンダード)

問 合 せ 先  
 役 職 ・ 氏 名 経 営 企 画 部 長 園 部 直 孝  
 電 話 0 7 3 - 4 3 1 - 6 3 1 1

## 2022年12月期 第2四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2022年1月28日に公表した2022年12月期第2四半期累計期間（2021年12月21日～2022年6月20日）の業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

## 記

## 1. 2022年12月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正

	売 上 高	営 業 損 益	経 常 損 益	親会社株主に 帰属する 四半期純損益	1株当たり 四半期純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 ( A )	1,633	△71	△74	△75	△12.76
今 回 修 正 予 想 ( B )	1,764	△24	18	10	1.82
増 減 額 ( B - A )	131	46	92	86	—
増 減 率 ( % )	8.1	—	—	—	—
(参考) 前期第2四半期実績 (2021年12月期第2四半期)	1,883	3	74	76	12.90

## 2. 修正の理由

第2四半期累計期間の連結業績予想数値については、主力事業である電子基板事業において受注が概ね想定どおり進捗したことに加えて、産機システム事業において検収時期がずれ込んでいた産業用ロボット関連の不採算案件が販売できたこと及びテストシステム事業において海外市場における基板検査機が前倒して販売できたことの影響から、売上高は当初予想を上回る見込みであります。損益については、電子基板事業において仕入販売商品に係る売上総利益率が当初の想定より上昇したこと並びにテストシステム事業における販売手数料及び広告宣伝費等の販売費及び一般管理費が想定を下回ったことから、営業損益は当初予想から損失が縮小する見込みであります。また、雇用調整助成金等の助成金収入等を営業外収益に計上したことから、経常損益及び親会社株主に帰属する四半期純損益は当初予想から黒字転換する見込みであります。

なお、通期の連結業績予想については、足元の損益は当初予想を上回って推移しているものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大、原材料価格の上昇及び部品の長納期化による影響が現時点では不透明な状況であることから、2022年1月28日に公表した当初予想は据え置くことといたしました。今後、業績動向を踏まえ修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

## 3. 2022年12月期配当予想

第2四半期末配当金及び期末配当金については、2022年1月28日付当社「2021年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」からの変更はありません。

※本業績予想等については、現時点で入手可能な情報及び合理的と考える一定の前提に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等の様々な要因により、予想数値と大きく異なる可能性があります。

以 上